

教職大学院が 勤務校の教育に新しい風を!

新潟大学教職大学院では、これからの新潟の教育をリードする「確かな理論と優れた実践的能力を備えたスクールリーダー」の育成のために、専門的・実践的な学びを通して、院生の追究が充実するよう努めています。現職教員にとって、次の「**多様な学び**」「**4つのつなぐ学び**」の機会にもなっています。
新潟大学教職大学院での学びが、勤務校の教育に新しい風を吹かせます!!

多様な学び

院生の多様な学びが、勤務校の4つのつなぐ学びを可能にします

4つの「つなぐ」学び



大学教員からの専門的な指導を通して、これまでの教育実践を理論的に見直したり、今日的な教育課題について、多面的・多角的に学ぶ機会になっています。

課題研究 院生一人一人の追究課題について、担当の大学教員と2年をかけてじっくりと学ぶ機会が設定されています。専門的に・分析的に教育実践を学ぶ機会になっています。

授業では、協働的な学びの場が設定されています。10年以上の教職経験者や学校現場経験のないストレートマスターとの学び合いにより、これまでの教育観の見直しや新しい気づきを得る機会になっています。

勤務校の教育実践に

先端教育の学びと教育理論の学びが、今日的な教育課題に向けて、**理論に基づいた確かな子どもの学びにつなげます!**

勤務校の教育計画に

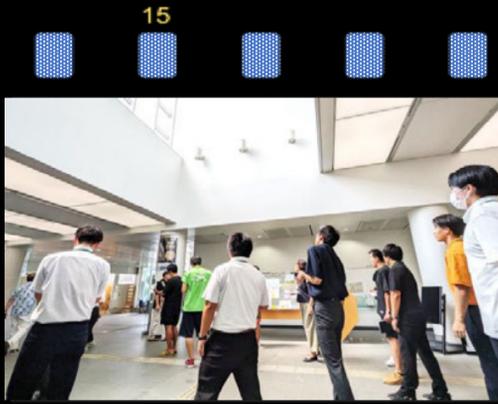
教職大学院での学びが、**勤務校の教育課程・地域教育計画・学校評価等の作成や見直しによる確かな教育活動につながります!**

勤務校の人材育成に

ストレートマスターとの対話的な学びを通して、**校内の教職員を支え、実践力向上につながります!**

教育活動の可能性に

国内外の大学教員、大学院生とのネットワークによって**教育活動が広がり、勤務校の豊かな教育の可能性につながります!**



M1・M2合同での課題研究発表会が、年に2回設定されています。発表することで院生自身の追究を見直したり、他者の発表を聞くことで、知見を広げ、深める機会となっています。

選択授業では、中国や韓国、他県の大学院との研究交流会があります。また、実際に中国に行き、中国の子どもたちに授業をしたり教育環境を視察したりする機会があります。国内外の教育を知る機会、自身の教育観を広げる機会になっています。

学校現場を支えている公共教育機関の視察やシャドーイング実習での実践的な学びの場が設定されています。学校マネジメントや地域教育、教育行政について学ぶ機会になっています。教育機関の取組の意図や工夫を知る機会になっています。

問い合わせ

新潟大学教育学部教職支援係
025-262-7107
kyoshoku@ed.niigata-u.ac.jp

教職大学院
ホームページ



教職大学院
PR動画



ホームページで、これまでの修了生の修了報告書の概要を見ることができます